

24. 藪の内遺跡

やぶのうちいせき

所在地：大飯郡高浜町事代第4号3番地1

調査原因：国民宿舎城山山荘新築工事（但し、現時点で実施は未確定）

調査期間：平成25年2月28日～3月31日

調査主体：高浜町教育委員会（郷土資料館）

調査面積：45 m²

時代：弥生・中世・近世



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要

藪の内遺跡は弥生時代の集落跡として周知されていますが、また高浜城跡としての範囲に含まれるところから中世の平山城の遺跡の所在地であるとも考えられています。新築工事計画の実現が未確定でもあり、現状で調査可能な地点に試掘調査トレンチ（45m×1m）を設定・掘削いたしました。

遺構

トレンチ全域にわたって約1mほど下げましたが、当初の予定より固く締まった客土（埋土）であったこと、お花見シーズンまでに調査を終了して欲しいとの要望がありましたので、経済的・時間的理由により中世まで遡る地層に達することができませんでした。よって、当初目的にかかる遺構は全く出土せず、近代の水道管が出たのみでした。

遺物

埋め立てによる近代の遺物があっただけでした。

まとめ

聞き取り調査では、昭和40年代後半頃、本城山公園は交通公園として整備・活用されていたとのことで、それに伴う埋土や遺物等は確認されましたが、埋蔵文化財としての調査成果は全くありませんでした。しかし、今後城山荘の新築工事が具体化した際には、今回の試掘調査のデータをもとに、よりの確な調査を計画・実施できる見込みがたちました。

（安倍義治）

Đ* Äèï ½• ” \$

Äèï ½ì ÷™ç z ‘ “ £

¼÷ Äèï ½' •

÷ _ ; › - ; ` o w÷ “ < [

Z T t P í + “

Đ* 4 f™wÆè í Ñf^ À